地域で働く先輩たちの声を聞く本

JiMoTo DE ShiGoTo!!

ジモトでシゴト

at FUKUSHIMA

ふるさとで
はたらくこと。いきること。

シゴトをはじめよう、就職しようと
思ったとき、都会へ出ようと思うかもしれない。

でも、ちょっとまわりを見てほしい。

君たちの生まれ・育ったふるさとに
地元に根をおろし、
はたらいている人がいる。

この本は、そんなジモトでがんばる
先輩たちをとりあげた。

先輩たちの声を聞き、
ジモトではたらくこと、
ジモトでいきることを考えてみよう。

JiMoTo DE ShiGoTo!!

ジ モ ト シ ゴ ト

at ＊FUKUSHIMA＊

＊ INTERVIEW ＊
01

開発・製造とユーザーの架け橋になりたい

小林 翠さん
2015年入社

アルファ電子株式会社は、医療機器や電子機器の開発・試作・量産・組立て・検査・梱包出荷業務請負など、メーカーの要求に応じ、臨機応変に対応する総合サービス会社です。

小林さんは入社5年目の若手社員。開発部門に所属し、電子部品の研究開発や製造のラインで作業するなど、色々な仕事を手がけています。

今は、福島県内の高校が考案し、コンテストで受賞した電子部品を製品化するための開発を行っています。

そんな小林さんにお仕事のこと、普段の生活のことを色々と伺いました。

＊入社したきっかけ

福島工業高等専門学校では化学系の専攻で、部活で小さいロボットを作っていたため、就職先は弱電系の会社に入りたいと

COMPANY ＊PROFILE＊

アルファ電子株式会社

福島県岩瀬郡天栄村大字飯豊字向原60−2
TEL：0248-83-2139
FAX：0248-83-2330
https://www.alpha-d.com/

事業内容

医療機器、電子機器、開発設計、部品関連からの一貫生産対応 / 電気機器完成品組立 / 各種生産組立自動機、治工具製作 / 海外生産品の品質保証・出荷業務 / 電子部品組立・梱包出荷業務請負 /SMT 実装、手はんだ付け /PWB フローはんだ・手はんだ付け・各種コネクター組立 / 構内請負事業 / 出張リワーク代行・ハンドキャリー代行

思っていました。

地元の企業説明会で、アルファ電子に出会い、当時の採用担当者の「なんでも好きなことをさせてあげるよ！」という一言が決め手になりました。

＊いまのしごと

入社当時は「何も知らない人がいきなり開発はできないから」と製造現場や荷物の受け入れ作業、出荷検査など会社の仕事を一通り経験し、その後、開発部に配属されました。

開発部に所属してからも製造管理や安全管理の仕事を通じて、色々なことを学べるように上司の皆さんにご尽力いただきました。

様々な部署をうろうろしながら、部品の状態から組立、出荷までの流れを実際に見ることで、モノづくりの工程を全て知ることができ、とても楽しいなあと思っています。

現在は、福島県の産学官連携事業で、郡山市の高校が電子部品の世界大会で3位を受賞した作品の設計・製造を当時の顧問の先生と一緒に進めています。

後輩へのアドバイス

はじめは大手企業を見てしまうと思いますが、大手だけではなく中小企業も魅力があると思います。

大手だと多くの社員の一人になってしまうかもしれませんが、中小企業だと、自分が会社に関わっている実感が大きいような気がします。視野を広げて、中小企業も見てほしいと思います。

＊地元ではたらく魅力

地元ではずっと、ボーイスカウトに参加していて、指導者として戻ってきてほしいと言われていました。

今まで培ってきた地元での活動を継続できることが地元で働く魅力だと感じました。また、両親と顔を合わせることができる距離に暮らせることも大きなポイントです。

＊成長したと実感したこと

6年のキャリアを重ねた今、入社した頃と比べて、後輩への話し方や、文書を作成する時の書き方など、インプットとアウトプットの仕方が分かってきたと思います。

＊未来へのビジョン

医療機器情報コミュニケータ（MDIC）認定に合格して医療機器の開発製造側と使用する現場の架け橋となりたいと思っています。医療のことを理解しながら、その助けとなるような機器を作るのが私の目標です。

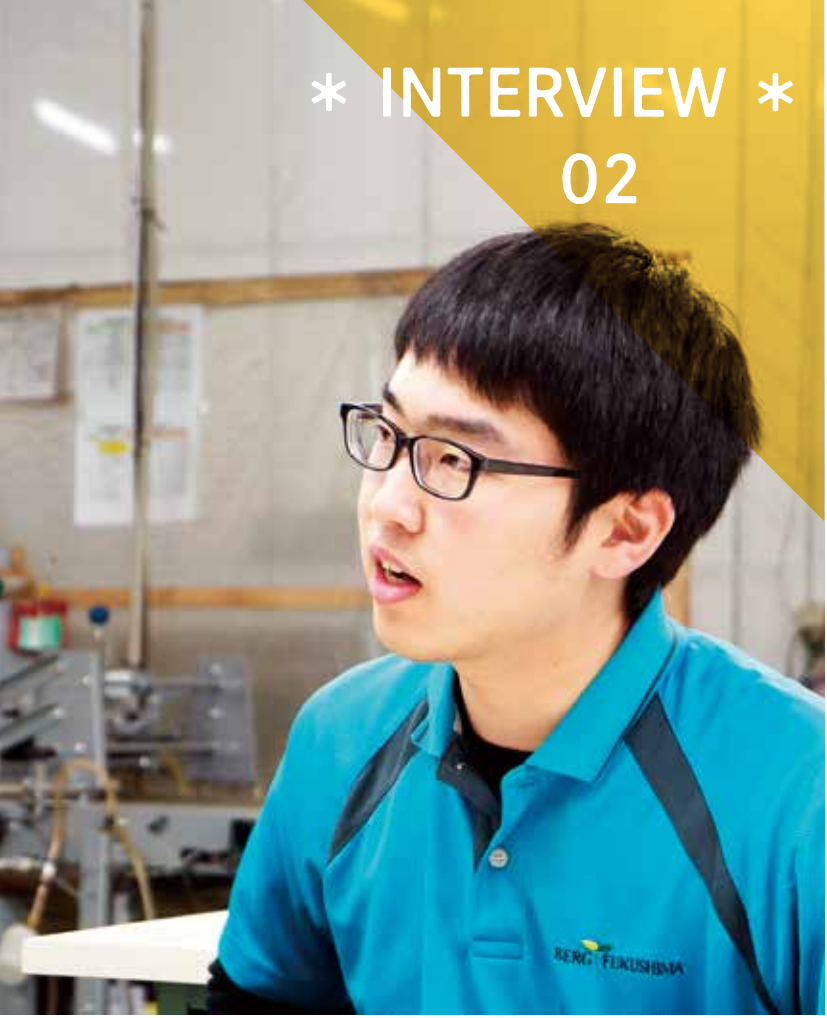
＊ ONTIME ＊

7:30	出社
8:25	朝礼
	調査
10:00～10:15	休憩
	開発に向けた打ち合わせ
12:00～	お昼休憩
13:00	試作品の開発
	休憩
15:00～15:15	作業
17:00	退社（繁忙期は19時）

＊ OFFTIME ＊

キャンプでリフレッシュ

学生時代からボーイスカウトに参加しており、その頃の仲間とキャンプに出掛けるのが休日の楽しみです。



＊ INTERVIEW ＊
02

農業に関わる仕事でやりがいを実感

佐藤渉さん
2019年入社

ベルグ福島株式会社は、人工光利用型（閉鎖型）と太陽光利用型の育苗施設の中で野菜苗の生産を行う会社です。人工光利用型（閉鎖型）育苗施設、植物ワクチン接種、接ぎ木育苗技術を用いることで、病害虫や環境ストレスに強い、お客様の土地にあった苗を生産することを強みにしています。

佐藤さんは地元の川俣町出身で、新卒1年目の若手社員です。入社後、生産部播種エリアに配属され、苗の生産に携わり、会社の仕事を学んでいる最中です。

フレッシュな新人の佐藤さんにお仕事のこと、普段の生活のことを色々と伺いました。

＊入社したきっかけ

相馬農業高校飯舘校で主に農業を勉強していました。

元々、農業に興味があり、高校にあった求人用のパソコンで調べたら、ベルグ福島が見つかりました。仕事でも農業に関わることが出

種をまくトレイに配合した土を敷きこむ仕事
徐々に手つきも良くなってきました。

COMPANY ＊PROFILE＊

ベルグ福島株式会社

福島県伊達郡川俣町大字羽田字曽利田10-1
TEL：024-572-6393
FAX：024-572-6394
http://www.bergearth.co.jp/company/accessmap.tml#hukushima

事業内容：
野菜苗の生産・販売

来たら楽しいだろうなあと思い、この会社を選びました。

＊いまのしごと

春から夏が苗の出荷の繁忙期にあたります。入社当時、専用の培養土を敷き詰めたトレイに種をまいていたのですが、種の数がとても多く苦労しました。

今の主な仕事は播種場で種をまくことと、培養土を作ること。そのなかでも、トマトの種まきは種が小さいので、とても神経を使います。特に、まいた種を一粒ずつチェックする「種見」がとても大変です。

また、イージーシーダーという半自動種まき機も上手く扱えるようになって、時間内に作ることができるトレイの枚数も倍くらいに増えてきました。今はその作業が一番楽しく、どんどん枚数を増やしていけるようになりたいです。

トレイにまく野菜の種。小さいため、まかれた種を確認するのが大変です。

後輩へのアドバイス

高校の卒業間近に迫った3年生になってから進路を考えるのではなく、2年生の頃から少しずつ調べたり、考えたりした方がいいですよ！

＊地元ではたらく魅力

地元で働くことを選んだのは、都会に出るよりも田舎で農業に関わりたいと思ったからです。

地元の好きなところは、すごく田舎ですが、生活に必要なスーパーなどは一通り揃っているところと、職場にも近く、家族みんなで暮らしていけるところです。

＊未来へのビジョン

まずは育苗の流れを覚えることです。ゆくゆくは自分で考えて、他の社員に指示を出すことができるような社員になりたいと考えています。

＊ ONTIME ＊

8：25	朝礼
	種まき（機械操作）
10：00～10：15	休憩
	種まき（機械操作）
12：00～13：00	お昼休憩
	潅水（機械操作）
15：00～15：15	休憩
	翌日作業準備
17：00	終礼・退社
	（繁忙期は19時）

＊ OFFTIME ＊

走ることがたのしい！

友人と遊ぶことや、走ることが好きで、近所でジョギングをしたりしています。

＊ INTERVIEW ＊
03

新しい機械を覚えてステップアップしたい

渡邊海斗さん
2017年入社

株式会社斎藤工機は多品種少量生産に対応する金属加工メーカー。
製品の製造に関わる工具や治具の製作や部品の組立製作を請け負い、除雪機や新都市交通車両の運行に必要な部品などにも採用されています。
渡邊さんは、生まれも育ちも伊達市保原町。保原高等学校卒業後、株式会社斎藤工機に入社し、今年で3年目になります。そろそろ、新人の肩書きも取れる頃の渡邊さんに色々とお話を伺いました。

＊入社したきっかけ

高校時代から、モノづくりに興味がありました。高校の職員室の求人票を見ていた時に、斎藤工機の求人票を見つけました。その求人票には、新幹線の部品等、人の生活の役に立つモノづくりができると書か

COMPANY ＊PROFILE＊

株式会社斎藤工機

福島県伊達郡川俣町飯坂字壁沢 7-1
TEL：024-566-4130
FAX：024-566-5590
https://saitokouki.com/

事業内容：治工具および機械部品の加工から組み立て全般（多品種、小ロット）

れていました。

そこに興味を持ち、その後、夏休みの職場体験に参加し、入社に至りました。

＊いまのしごと

現在は、産業用ロボット、マシニングセンタのオペレーションを任され、ドリルでの穴あけやカッターを使った削りなどを行っています。後工程の研磨を担当する先輩方が少しでもやりやすくなるように考えながら作業しています。

作業は日によって異なり、毎日違うものを加工しています。色々な種類の製品を10個から20個ずつ作ることが多いので、1日に多くて5種から6種くらいの製品を手掛けています。精密加工という世界は、100分1ミリという精度まで求められます。入社前までは全く触れたこともないような精度だったので苦労しました。

また、金属の材質も含まれる成分の含有量で硬さが変化するので、工具との相性も覚えなくてはなりません。失敗を経験しながらも、上司のアドバイスを聞き、知識を蓄えています。

後輩へのアドバイス

会社では、職場体験・見学はいつでもできますので、モノづくりの楽しさをぜひ見てもらいたいです。

＊成長したと感じたこと

メンタルが強くなったと思います。最初の頃は、失敗するとご飯も食べられないくらいショックを受けて、立ち直るのに時間が掛かっていましたが、3年目になって、失敗は自分にとって必要なことと思えるようになりました。

今の仕事は一人でやることや、学ぶことが多いですが、自分の手で作り出していることが実感でき、やりがいにつながっています。

＊地元ではたらく魅力

就職活動当初から、地元以外で働く、外に出るという意識をしたことがなく、自然に選んだ職場が今の会社でした。通勤に時間が掛からないので、仕事に集中できる環境が良いです。

＊未来へのビジョン

新しい機械を導入する予定があるので、導入されたら進んで機械のことを勉強し、新しい作業に挑戦していきたいです。

また、研磨加工の部分も勉強して、自分の技術に磨きをかけていきたいと思っています。

＊ ONTIME ＊

7：45	出社
8：15	始業
	作業
12：00～13：00	お昼休憩
	作業
15：00～15：15	休憩
	作業
17：15	退社

＊ OFFTIME ＊

先輩たちと仲良く

友人たちと飲みに行ったり、ゲームをしたりします。

会社の若手の先輩たちが誕生会を開いてくれたのが嬉しかったです。

＊ INTERVIEW ＊
04

温かく働きやすい職場で社会人の一歩を

太田竜聖さん
2019年入社

福島エコクリート株式会社は、石炭火力発電所などから1日240トンも排出される石炭灰をリサイクルし、建築資材ORクリートとして販売しています。

太田さんは南相馬市出身。小高産業技術高等学校産業革新科を卒業後、福島エコクリート株式会社に入社した1年目の新人社員です。配属された事業部で、ローリー車で運び込まれる石炭灰の成分検査を行っています。

新人の太田さんにお仕事のこと、普段の生活のことを色々と伺いました。

＊入社したきっかけ

福島エコクリートを知ったのは、高校の企業見学がきっかけでした。

その時、会社の先輩たちがとても温かく迎えてくれ、働きやすそうだったので、この会社を選びました。

検査機を使っての成分検査

OR クリートは、2019 年4月に福島県「うつくしま、エコ・リサイクル製品」に認定されました。

COMPANY ＊PROFILE＊

福島エコクリート株式会社

福島県南相馬市小高区女場字猿田1番地23
TEL：0244-26-4198
FAX：0244-26-4199
http://www.fukushima-ec.com/

事業内容：
コンクリート二次製品等の製造販売/再生砕石及びこれに類する再生建設資材の製造販売/砕石・骨材などの販売/産業廃棄物の中間処理

＊いまのしごと

毎日、何台ものローリー車で、沿岸部の火力発電所から会社に石炭灰が届けられるので、1台ごとに少量ずつ抜き取り、検査機や試薬を使って石炭灰の成分を分析します。

石炭灰の分析は、製品であるORクリートの品質を均一にするため、分析された成分ごとに、工場で混ぜる資材の配合を調整するための大切な仕事です。

1日の業務が終わる頃、全社員でプラントの清掃を行います。プラントは終業前に停止しますが、その前に全体をきれいにしておかないと、機械が壊れてしまうこともあります。清掃は3人1組で行います。力仕事も多いので、入社当初は上手くできずに、一人作業が遅れていましたが、最近ようやくペースを守れるようになりました。

少しずつ仕事に慣れ、会社の一員となって頑張っています。

＊地元ではたらく魅力

震災で被災した時は、小学校3年生でした。その頃から、ずっと南相馬市で暮らしていて、人の暖かさ、自然の多さが自分の肌にあっていたので、南相馬市から外に出ることは全く考えませんでした。

＊未来へのビジョン

今は先輩たちに教えてもらいながら仕事をしていますが、どんどん自分でできるようになりたいです。また、去年までは学生で、周りは同級生ばかりでした。今は会社で一番年下。先輩に話しづらいこともありますが、年下だからこそ話せることもあるので、自分から積極的に話しかけて、環境に慣れていきたいです。

後輩へのアドバイス

自分の進みたい道をまずしっかり決めて、職業について調べたり学習することが大切です。

＊ ONTIME ＊

8：00	出社
	検査室で検査業務
12：00～13：00	お昼休憩
	検査室で検査業務
16：00	プラントの清掃
17：00	退社

＊ OFFTIME ＊

柏レイソルのサポーター

サッカーの試合をスタジアムやテレビで観るのが好きです。

初めて観たスタジアムの試合が柏レイソルで、今も応援しています。

INTERVIEW ＊ 05

この仕事を通じて人の役に立つ人間に

片寄正之さん

2016年入社

東工株式会社は、自動車用の板ばねなどの金属プレス加工を行っています。

片寄さんは、いわき市の福島県立勿来工業高等学校を卒業後、一度はサービス業に就きましたが、1年で転職。今の東工株式会社へ入社し、今年で4年目。製造課プレス係として、何台もの機械を駆使し、製品の加工を行っています。3年の実務を経験した片寄さんにお仕事のこと、普段の生活のことを色々と伺いました。

＊入社したきっかけ

以前勤務していたサービス業の勤務形態が自分に合わず、高校時代に学んでいた工業系の仕事をしたいと思っていました。

ハローワークで東工を知り、福利厚生が充実していたこと、特に週休二日制であることが魅力だったため、入社を決めました。

COMPANY ＊PROFILE＊

東工株式会社

本社：神奈川県大和市つきみ野 1-1-4

福島工場：福島県いわき市小名浜島西屋 88
TEL：0246-38-7120
FAX：0246-38-7121
http://www.tohkoh-corp.co.jp/

事業内容：
金型設計・製作 / プレス&フォーミング加工 / 精密うす板ばね / 電子機器パーツ / 超硬金型部品加工販売

＊いまのしごと

私が担当しているのは板ばねのプレス加工。プレス加工は、プレス機に金型と材料をセットして自動で機械に加工させるのですが、加工を続けていくと最初の設定から少しずつずれてきてしまいます。材料を補充したり、造られた製品を受ける箱を交換する「箱がえ」のタイミングで寸法と仕上がりを確認し、そのズレを調整していくことが重要な仕事です。製品には基準があり、基準に合致しないと廃棄しなくてはならなくなるので気を抜けません。

今は同時に3台のプレス機を操作して板ばねを生産していますが、先輩たちの中には4台以上を操作する人もいます。

また、私はモノづくりが好きで、一から自分で考えて作ることが好きです。工場の機械や工程を見直す時に、作業に関わる部品や道具を自分たちで作るのが当社の方針です。改善に関するモノづくりができることも、この仕事を続けるためのモチベーションになっています。

後輩へのアドバイス

学生時代には勉強よりスポーツを、バイトより部活を頑張って欲しい。社会人になると働く時間が生活の大半を占めるので、学生時代にしかできないことを思い切りやって欲しい。また、入った会社では余程のことがない限り1年は仕事を続けた方が良いです。努力してなんとかなるのなら続けた方が絶対に良いと思います。

＊地元ではたらく魅力

正直なところ、私も地元から出て就職したいとは思います。友人で埼玉や東京に出て働いている人もいます。

都会は便利でうらやましいですが、一度都会に出た友人も半分はいわき市に戻ってきます。戻ってきた友人はみな「やっぱり、いわき市の方が人が温かい」と言います。それだけいわき市に魅力があるのだと思います。

色々と魅力はありますが、一番は何と言っても、実家から歩いて100mで海に行けること。私は海がないところには住みたくないです。

＊未来へのビジョン

製造業の仕事を活かして人の役に立つような人間になりたいです。

祖父は、些細なことでも人のことを手伝うような優しい人。そんな祖父の優しさがいいなと思っていました。また、叔父もNPOに参加し、人を助ける活動をしています。

私はそういう人の役に立つ人間を目指したいと思っています。

＊ ONTIME ＊

7：50	ラジオ体操と朝礼
	始業　プレスの作業
10：00～10：15	小休憩
	プレスの作業
12：00～12：45	お昼休憩
	プレスの作業
15：00～15：15	小休憩
	作業
16：50	清掃
17：00	退社

＊ OFFTIME ＊

フルマラソンに挑戦

平日はいわき市立総合体育館で筋トレをするなど、体を動かしています。

総合体育館は一回の利用料が110円で使い放題です。

トレーニングをしていると少しずつ仲間ができて、皆で今度、いわきサンシャインマラソンに参加したいと思っています。

＊ INTERVIEW ＊
06

苦手なことも立ち向かい 新しい仕事に活かす

門間裕匡さん
2014年入社

有限会社クルーズプランニングは、モノづくり・健康づくり・コトづくりの3つを柱としたいわき市にある会社です。

モノづくり事業は、カーナビゲーション用車種別取付キット関連を中心に、多品種少量生産を得意とし、成形・精密板金・梱包資材、取扱説明書まで顧客企業に求められる様々なOEMに対応しています。

健康づくり事業は、健康な靴の販売と歩き方教室なども行う靴専門店「ベネシュ」、リハビリ特化型のデイサービス「レッツ倶楽部」を運営しています。

コトづくり事業は、企業向けに貸し切りでチームビルディング研修を行う野外研修施設「ハッシュ村」の運営を手掛けています。

多様な事業を展開する、有限会社クルーズプランニングに中途で入社した門間さんに、今のお仕事やご自身のことを色々と伺いました。

COMPANY ＊PROFILE＊

有限会社クルーズプランニング

福島県いわき市平下平窪二丁目 1-9
TEL：0246-35-2940
FAX：0246-35-2866
http://www.crews.co.jp/

事業内容：
カーエレ関連製品の企画・開発・資材販売 / チラシ・パンフレットなどの制作、デザイン / 機能性健康靴ベネシュ代理店（ベネシュ水戸・郡山）/ 介護予防サービス事業（リハビリ特化型半日デイサービス レッツ倶楽部いわき郷ケ丘・平窪・湯本・泉）/ 野外体験型研修施設、キャンピングオフィス HASH 村運営

＊入社したきっかけ

私は、秋田県出身で、子供の頃から頑張っていた野球を続けるためにいわき市にある東日本国際大学に入学しました。大学卒業後は、いわき市内の倉庫業を行う会社に就職しました。

取引先の中にクルーズプランニングがあり、商品を保管・出荷する仕事をしていましたが、その時出会った今の先輩社員と仲良くなり、クルーズプランニングのことを色々と聞かせてもらうなかで、雰囲気が気に入ったので転職を決めました。一方、前職の会社とは今も良い付き合いを続けさせてもらっており、転職して良かったと思っています。

＊プロダクト事業の仕事

プロダクト事業部に所属しており、現在の主力商品であるカーナビに必要な部材の調達や商品開発のサポートを行っています。クライアントから必要な部材の注文が来ると、自社の取引先から部材を調達し、納品まで行います。複数社から部材を調達し、パーツの組み立てが必要な場合も、自社で調達・組み立て納品まで一貫して請け負うことができます。自社工場がないので、全て協力会社との協業です。

＊コトづくり事業での仕事

いわき市内の山間部に設けた古民家を活用した貸し切り型野外研修施設「HASH村」を運営しており、そこで企業研修の企画運営を行っています。依頼者との打ち合わせのなかで、研修がどのような効果を出すことができるのかを綿密に協議し、実際の当日のプログラムや受け入れに反映させることが重要です。

私は当日に現場で講師として研修を進行しますが、実は人前で話すことに苦手意識を持っていました。その苦手部分をそのままにせず、克服をしようと考えていました。その時に出会ったのが、山梨で行われるファシリテーションの資格を取れるセミナーでした。そのセミナーで、企業研修の企画などを学び、会社でファシリテーターになりたいという意思を話していた時、野外研修施設を作る計画があり、そこで講師をすることになりました。

＊未来へのビジョン

当社が運営する介護施設で実施したチームビルディング研修において大きな成果があったので、たくさんの企業へこの研修の良さを広めていきたいです。大自然の中で研修を行うからこそ、心が解放され、自然と社員同士の絆が深まります。

その結果、離職率の低下や相互理解を深めることでコミュニケーションが活性化され、働きやすい職場作りができると自信を持って勧めることができます。

＊いわきではたらく魅力

大学時代からアルバイトなどを通して、いわき市の人たちと触れ合ってきました。いわき市は中心部から離れると自然が多く良い町ですし、人への接し方がいわき市の人は優しいと感じます。また、いわき市は程良く便利で、程良く田舎の雰囲気があると感じます。

自分にとっては第二の故郷として愛着があります。

大学3年生の3月に東日本大震災がありました。愛着のあるいわき市の被害を見た時、この場所を離れたくないと思いました。

後輩へのアドバイス

はじめはやりたい仕事が何か悩む人も多いはずです。ただ、入社後でも自分のやりたい事、好きな事ができるチャンスは巡ってきます。失敗を恐れずチャレンジができる会社を探す事も重要だと思います。

＊ ONTIME ＊

9：00	出勤
	お客様へ訪問し打合せ、資料作成・提出
	部品の発注管理等
12：30～13：30	お昼休憩
	生産計画作成・見直し、商品開発ミーティング、お客様と研修の打合せ
18：00	終業

※企業研修がある場合は、二日間渡り講師を行う。

＊ OFFTIME ＊

休日はゴルフ

学生時代は捕手として野球に打ち込んでいましたが、最近はプレーする機会が減りました。そのかわり、同じ球技でもゴルフをすることが多くなりました。この写真は、会社の社員研修でハワイに行き、ゴルフをプレーした時のものです。日本では味わえないロケーションに感動しました。

＊ INTERVIEW ＊
07

会社のスタートアップに関われた貴重な経験

武田真理子さん
2015年入社

株式会社ワンダーファームは、様々な品種のトマトを自社農場で生産しながら、トマト狩りやレストラン、カフェ、ショップを併設した体験型農場を経営しています。

武田さんは、営業推進グループに所属し、野菜ソムリエの資格を持っています。

武田さんが入社した時は、建屋がなかった状態という黎明期。何もないところから始まって6年目。仕事のこと、今までの苦労したことなどのお話を伺いました。

＊この会社を選んだ理由

いわき市出身の私は、人と話をするのが好きでした。高校卒業後、福島大学進学のため福島市へ引っ越したのですが、大学卒業後は地元いわき市に戻りたいという気持ちが強く、そんな時、「この会社が新しく事業

COMPANY ＊PROFILE＊

株式会社ワンダーファーム

福島県いわき市四倉町中島字広町 1
TEL：0246-38-8851
FAX：0246-85-5106
http://www.wonder-farm.co.jp/

事業内容：
農産物加工販売事業 (トマトジュース・OEM製造等)/ 物販事業 (直売所の運営)/ 飲食事業 (レストラン運営)/ 体験事業

を立ち上げるみたいだよ」と、両親が見つけてきたのがワンダーファームでした。

面接の時に、「これからみんなで一緒に考えながら会社を作っていきましょう」という会社の考え方に惹かれ、新卒で会社の立ち上げから関われることはないと思い、入社を決めました。

＊いまのしごと

団体ツアーのお客様の受け入れと、施設内での対応が主な業務です。

幼稚園の遠足から年配の方、海外からのツアーの受け入れもあるので、お客様に合わせて臨機応変に話の内容を変えています。ツアーだけでなく、視察や研修の方々はより現場の見学が主になるので、その場合も話の内容は異なります。

ランチだけのお客様や買い物だけのお客様もいらっしゃいます。お客様次第で変化することができる現場対応力も大切です。

ツアー受け入れ前に、電話ヒアリングをしますが、その時に伺った情報はとても重要です。

最初はマニュアルもなく、全て手探りで経験を積みながら仕事を作っていきました。

私目当てで来ていただけるお客様もいらっしゃるので、とても励みになります「楽しかった、また来るね」と声を掛けていただくのが一番嬉しいです。また、入社してから野菜ソムリエの資格も取得しました。新聞にレシピを掲載していただいたこともあって、励みになっています。

＊地元ではたらく魅力

私は一人っ子です。両親に何かあった時のために地元に居たいと思っていました。

また、友人がいわき市内で就職しているのも地元に居るポイント。

地元いわき市は、海や山が近く自然が豊かで、夏も過ごしやすく、日照時間も長いのでトマト栽培にも向いている良いところです。

＊未来へのビジョン

今は、チラシの制作、ホームページ、SNSを使った広報を任されています。見やすい物、どういう見せ方が最も伝わるのかを考えながら集客につなげていきたいと思います。

後輩へのアドバイス

自分が小さい時から過ごしたところは、土地勘があり、知っていることも多いので、慣れ親しんだ地域は安心感があると思います。自分の興味のないことも、色々と体験できるのは今だけなので、せっかくだから色んなところを見た方が良いと思います。

＊ ONTIME ＊

8：30	出社
	朝礼
	お客様のお出迎え等
12：00～14：00	この中で1時間休憩
	イベント企画の打ち合わせ、広告作成等
17：00	退社

＊ OFFTIME ＊

日本史の勉強会に参加

福島大学で週末に行われるの日本史の勉強会に参加しています。

元々、大学で歴史を勉強していて、いまだに恩師から、「卒業論文の研究会や学術講演会があるからおいでよ」と誘われたり、卒業生と一緒に旅行したりしています。

震災があった時は大学で、文化財資料レスキューなどにも参加していました。

＊ INTERVIEW ＊
08

新しい土地で楽しみながら働く

佐藤李音さん
2018年入社

アンフィニ株式会社は、太陽光パネルを製造するメーカーですが、幅広くエネルギー事業を展開しています。2017年に福島県楢葉町に国内最大級の太陽光パネル工場を設立し、太陽電池パネルを作っています。

佐藤さんは入社2年目で、太陽光パネルの検査や製品の梱包・配送などを担当しています。今のお仕事やご自身のことを色々と伺いました。

＊この会社を選んだ理由

私は郡山市で生まれ育ち、郡山市内の高校に通っていました。就職を考えるにあたって、求人サイト等で色々な会社を調べていたのですが、高校の先輩から、アンフィニのことを聞き、どういう会社か知りたくなって見学に行きました。その際、働いて

出荷作業を行う佐藤さん

製品の太陽光パネル。結晶系ソーラーパネル生産は国内最大級（写真：災害時に持ち運び発電可能なパネル）

COMPANY ＊PROFILE＊

アンフィニ株式会社

本社：大阪府大阪市浪速区湊町1丁目4番38号近鉄新難波ビル10階
福島工場：福島県双葉郡楢葉町下繁岡北谷地16番地
TEL：0240-26-0888
FAX：0240-26-1888
https://infinigroup.co.jp/corporate/fukushima/
事業内容：
自然エネルギー事業

いる先輩方に元気よく挨拶してもらうなど、会社の雰囲気が自分に合っていると感じたので、卒業後すぐに入社しました。

＊いまのしごと

工場で組み立てられる太陽光パネルの検査や、組み上がった製品の梱包作業をしています。

パネル表面等の異常を見分ける必要があるため、注意力が必要で、神経を使います。

最初は、慣れないことばかりで、自分の仕事で精いっぱいでした。でも、仕事に慣れてくると、自分の作業の手が空いた時に、忙しい仲間の手伝いをする等、周りが見えるようになってきました。

職場の人たちは明るい人が多く、気軽に声を掛け合える働きやすい環境だと思います。

＊楢葉ではたらく魅力

楢葉町など福島県の浜通り地方は、自然や公園が多く、スポーツ活動もしやすいところだと思います。海が近いので、海を見てリラックスできるところも気に入ってます。

＊未来へのビジョン

まず、作業の幅を広げるため、フォークリフトの免許を取ることを目指しています。

今は、仕事場と宿舎の行き来が多いですが、これからは地域の人々との交流を増やしていければと思っています。

後輩へのアドバイス

就職活動は情報収集が大切ですが、実際に働いている人に会うことで自分に合った職場が見つかると思います。特に、見学に行った際に、挨拶ができる人が多い会社を選ぶと、その後の人間関係などにつながると思います。

福島には優しい人が多いです。また、都会的なところと田舎的なところが程良く混在していてちょうど良いですよ。

＊ ONTIME ＊

6：50	起床
9：00	出社・就業開始
	製品のチェック・梱包作業
12：00	お昼休み
13：00	同様に梱包作業
	従業員での点呼のあと終業
18：00	退社
	自分で夕食作り
	ネットで映画やドラマ、アニメなどの視聴

＊ OFFTIME ＊

野球とサッカーと料理

福島の浜通りは、運動できるところがたくさんあります。スポーツが大好きで、休日は友人達とサッカーを楽しむことが多いです。野球も好きでライオンズファンでもあり、スタジアムに観戦に出かけたり、おいしいラーメン屋さんなどの食べ物巡りも楽しんでいます。

＊INTERVIEW＊
09

学生時代に縁のあった富岡でがんばる

松本華澄さん
2018年入社

富岡ホテルは、東日本大震災で被災した富岡駅前に2017年にオープンしました。

富岡町に宿泊施設が足りないという状況を見た地元の人たちが集まり、共同で設立したという経緯から、地元の方をはじめ、誰からも愛されるアットホームな宿を目指しています。

松本さんは入社2年目で、ホテルのフロント業務を担当しています。演劇が好きで舞台に立ちたいとも考えていましたが、就職を考えた時、接客業が向いていると思い富岡ホテルに就職しました。

松本さんに今の仕事やご自身のことをお伺いしました。

＊入社のきっかけ

私は三春町で育ち、郡山市の芸術系専門学校に通っていました。専門学校から紹介

COMPANY ＊PROFILE＊

富岡ホテル

福島県双葉郡富岡町大字仏浜字釜田 122-6
TEL：0240-22-1180
FAX：0240-22-1182
https://tomiokahotel.jp/

業務内容：宿泊業

された演劇のキャンプがきっかけで富岡町の魅力を知り、富岡町で働きたいと考えていました。

演劇キャンプに誘ってくれた先生から富岡ホテルを紹介され、接客業に興味があったので入社しました。

＊仕事の内容、苦労したこと

お客様のチェックイン、チェックアウトの対応や、レストランの補助など、ホテル内の様々な業務を担当しています。

演劇の活動を通して、礼儀について学んだこともあり、はじめはホテルのフロントとしての礼儀正しさにこだわっていたのですが、実際にはアットホームな雰囲気の宿ですので、お客様との距離感をつかむのに苦労しました。

少人数で運営しているため、様々な場面で臨機応変に対応しなければなりません。経験したことのないことでも、どのように対応しようか自分で考えたり、情報を探したりして対応できるようになったと感じています。

富岡ホテルは、若手の意見も取り入れて

もらえるので、自分からも積極的に企画のアイデアを出しています。これまでに、女性のお客様にお渡しするアメニティ企画等が商品化されました。

＊富岡ではたらく魅力

福島県内で働きたいと考えていたので、富岡町で仕事を見つけられて良かったです。

地元の人たちと仲良くなるにつれ、温かい人が多くて良いところだと感じるようになりました。

＊未来へのビジョン

今担当している業務をしっかりこなしながら成長して、将来はマネージャー的な存在になりたいと考えています。

時々ですが、海外からのお客様も来られるので、英語を勉強してコミュニケーションを取れるようになりたいです。

後輩へのアドバイス

自分の長所や得意分野を見つけて、そこから何ができるのか、発想を膨らませて仕事を見つけることが大切だと感じています。

しっかり自分を見つめ、自分に合った場所で働けるように頑張ってください。

＊ ONTIME ＊

早番

7：00 出勤・フロントでチェックアウトの対応

10：00 清掃

コーヒーマシンのメンテ

チェックインの準備

（お昼休みは適宜）

15：00 チェックイン対応

15：30 退社

遅番

12時30分出勤や13時30分出勤の日もあります。

＊ OFFTIME ＊

友達と会うために郡山市に出かけたりします。

at FUKUSHIMA

復興庁
Reconstruction Agency
新たなステージ　復興・創生へ

令和2年3月発行

お問い合わせ　復興庁雇用促進班　TEL 03-6328-0274